

第7次総合計画



めざすまちの姿

上質な生活都市

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

そのような、

市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」
を、私たちはめざします。

まちづくりの基本理念

まちづくりの原点は「地域」、そして、そこに暮らす私たち「市民」です。

本市は、歴史や自然に恵まれ、古くから九州の中核をなす拠点都市として発展し、豊かな自然環境と都市の利便性とが調和した、大変暮らしやすい都市です。

この伝統あるまちを先人たちから受け継いだ私たちは、まちの魅力をさらに磨き上げ、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

特に、「心の豊かさ」を重視する今の時代においては、家族や地域とのつながりと生活の満足度は深く関わりあっており、熊本地震では、人と人との絆や助け合いといった地域コミュニティの重要性が再認識されました。そこで、外国人を含めた多様な市民が豊かな暮らしを送るためには、生活の基盤となる地域が主体となってまちづくりを進め、

安心して暮らせる住みやすいまちを築くことが必要です。

そのために、市民は、今まで以上に地域に目を向け、自ら主体的に地域の中でつながり、お互いに支え合い、地域が有する資源や特色をいかした自主自立のまちづくりに、楽しみながら取り組みます。

そして、行政は、積極的に市民の中に飛び込み、地域の課題や市民の意見、要望などを的確に把握し、市民とともに解決を図っていきます。

このように、まちづくりの主役である私たち市民と行政が、お互いに責任や役割を分担し、補い合いながら、自信と誇りを持って次の世代に引き継げるようなまちづくりに取り組んでいくことが大切です。

熊本地震からの復旧復興

めざすまちの姿を実現するため、市民力・地域力・行政力を結集し、熊本地震からの復旧復興に最優先に取り組みます。

1 被災者の生活再建に向けたトータルケア

切れ目のない生活再建・健康支援

- 再建後の孤立や健康悪化を防止するための見守りやコミュニティ形成支援 など

宅地復旧及び耐震化支援

- 液状化などの被災宅地への復旧支援
- 被災分譲マンションの建替・解体支援 など

心のケア

- 心の健康の確保に向けた一人ひとりの状況に合わせた支援
- カウンセリングが必要な児童生徒へのケア など

2 防災・減災のまちづくり

災害に強い都市基盤の形成

- 道路・橋梁・公共施設などインフラの耐震化
- 公共交通ネットワークの構築と移動手段の多重化 など

市民・地域・行政の災害対応力の強化

- 校区防災連絡会・避難所運営委員会の設立・運営支援
- 震災対応実動訓練の推進 など

避難環境の強化

- 福祉避難所の拡充
- 災害用マンホールトイレの設置 など

3 熊本地震の記録と記憶の伝承

防災教育の推進

- 小中学校における防災教育副読本の活用などによる発達段階に応じた防災教育の充実
- 大規模地震を想定した避難訓練の実施 など

震災に関する記録の保存と活用

- 震災記録誌や復興手記集の活用
- 震災関連文書の保存 など

国内外への発信

- 国際会議や研修会での教訓や知見の発信
- 被災地への災害支援 など

まちづくりの重点的取組

めざまちの姿を実現するための目標を市民と行政で共有し、市民とともに次の項目に優先的に取り組みます。

1 安心して暮らせるまちづくり

① だれもが安心して子育てできる環境を整えます。

- 安心して子育てができる少子化対策の推進**
 - 保育所入所待機児童ゼロの取組
 - 病児・病後児保育など多様なニーズに対応した保育サービスの提供
 - 子育てにかかる経済的負担の軽減や子育て不安の解消
 - 仕事と子育ての両立支援や障がい児支援、児童虐待防止体制の強化 など

- 子どもたちがいきいきと育つ環境整備**
 - ICTの導入による学習に集中できる環境整備や学力の向上対策
 - いじめや不登校など子どもや保護者の悩みに寄り添うことができる体制づくり
 - 子どもの貧困対策や生涯学習の充実
 - 放課後児童対策の強化 など

② 「おたがいさま」で支え合う地域コミュニティを形成します。

- 多様な世代が生きがいをもって豊かに暮らせる自主自立のまちづくり**
 - 地域団体との連携強化や支援の充実
 - 地域団体の後継者育成などのまちづくり支援機能の強化
 - 市民公益活動の推進 など

- 健康で暮らしやすい生活都市づくり**
 - 子どもから高齢者まで住み慣れた地域で生活できる地域包括ケアシステムの深化・推進
 - 校区単位の健康まちづくりなど生涯を通じた健康づくり
 - 住民同士で支え合う地域福祉活動 など

2 ずっと住みたいまちづくり

① だれもが移動しやすく暮らしやすい都市をつくります。

- 地域拠点に都市機能が集積した都市づくり**
 - 中心市街地と地域拠点での商業・医療など暮らしに必要な機能の維持・確保
 - 利便性の高い公共交通沿線での人口密度の維持
 - 歩いて楽しめる都市空間の創出 など

- 交通利便性が高い都市づくり**
 - 日常生活を支えるバス路線網の再編・運行体制の見直し
 - 公共交通空白・不便地域へのコミュニティ交通の導入・維持
 - 公共交通と自動車交通の最適な組み合わせと幹線道路網の整備による交通渋滞対策 など

② 雇用機会を創出し、熊本に住み、働ける環境を整えます。

- 地域経済の振興**
 - 中小・小規模事業者の事業承継への支援
 - 農水産業の振興
 - 経営支援、商店街の魅力向上やにぎわいの創出 など

- 安定した雇用の創出**
 - 就職・就業支援や職業訓練などによる新たな技術革新に対応できる産業人材の育成・還流
 - 創業支援や企業誘致の推進などによる雇用の創出
 - 農水産業における担い手の育成 など

3 訪れてみたいまちづくり

① 伝統文化とエンターテインメントが共鳴するにぎわいを生み出します。

- 歴史や伝統文化の継承・発展と観光の振興など熊本の魅力の創造・発信**
 - 熊本城の着実な復旧と公開
 - 熊本城などの観光資源の魅力の向上と発信
 - データ分析に基づく観光戦略 など

- 国内外から多くの人が集う交流とにぎわいづくり**
 - 熊本の特性をいかしたMICEやスポーツ大会などの誘致
 - 国内外との交流促進
 - 多文化共生のまちづくり など

② 人と自然が共生する恵み豊かで持続可能なまち熊本を発信します。

- 世界が認めた地下水の保全と緑あふれるまちづくり**
 - 恵まれた地下水の質と量の保全
 - 市域に残る自然環境の保全や新たな緑の創出
 - プラスチック対策の推進 など

- 安全で良質な農水産物の魅力発信**
 - ICTやAI技術を活用したスマート農業の推進
 - 安全・安心で良質な熊本の農水産物の発信
 - 高付加価値化・ブランド化による国内外への販路拡大 など

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、市民の命と暮らしを守るため、感染拡大防止と地域経済の再建に最優先で取り組みます。

熊本市経済再建・市民生活安心プラン

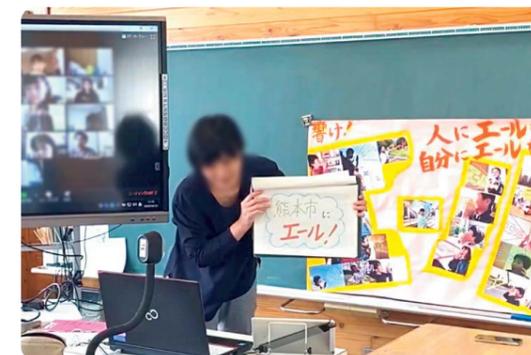
施策 1 感染拡大を防止する

- ① 感染拡大防止対策
- ② 医療提供体制の整備



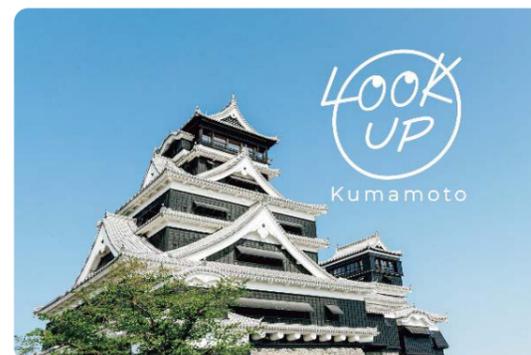
施策 2 市民生活を守る

- ① 正しい知識の普及啓発と人権擁護
- ② 市民生活・健康の維持
- ③ 子どもたちの学びと心のサポート



施策 3 地域経済を再建する

- ① 中小企業・小規模企業等の事業継続
- ② 雇用の維持と人材育成
- ③ 域内需要の循環
- ④ 域外需要の取り込み
- ⑤ 「新しい生活様式」に対応した農水産業の振興
- ⑥ 企業誘致と移住促進



施策 4 強靱な社会経済基盤を構築する

- ① 行政のデジタル化
- ② スマートシティの実現
- ③ 持続可能なまちへの転換

